

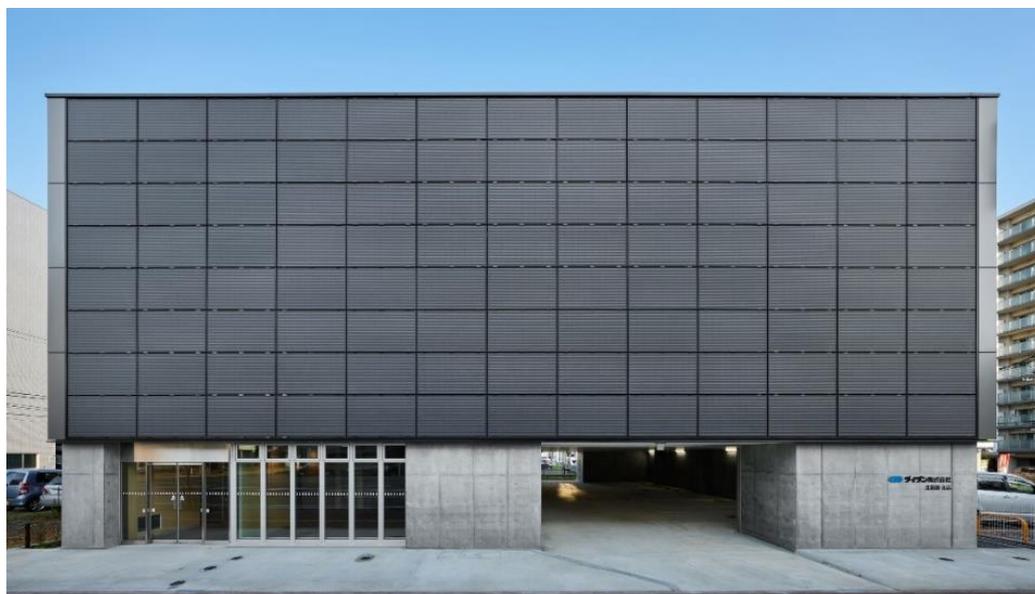
2021年6月14日

各 位

ダイダン株式会社

## 働きやすさとレジリエンスを追求した寒冷地における『ZEB』 ダイダン北海道支店「エネフィス北海道」が完成

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、代表取締役社長：藤澤一郎）は、北海道札幌市にて寒冷地における『ZEB』（＝一次エネルギー消費量を“正味でゼロ”）建築となるダイダン北海道支店（通称「エネフィス北海道」）を完成させ、6月12日に竣工式を執り行いました。



ダイダン北海道支店「エネフィス北海道」外観

エネフィス北海道は、今まで建設・運用してきたエネフィス九州・四国のZEBの知見を活かし、『人と地球との共存』のテーマのもと「寒冷地のZEB」「ウェルネス」「レジリエンス」の3つをコンセプトに建設いたしました。

本建物は、消費エネルギーを設計基準から63%削減するとともに、太陽光発電で39%のエネルギーを創出することで、合計102%のエネルギー削減を達成しました。その結果、建築物省エネルギー性能表示において、最高ランクの“BELS 5☆”および『ZEB』に認定されています。

また、エネルギー性能だけでなく、建物内で執務する人たちの健康・快適に配慮し、知的生産性の向上にも努めています。そして、本建物の様々な取組みが評価され、建築環境総合性能評価システムであるCASBEE-スマートウェルネスオフィスで最高ランクの“Sランク”を取得しました。北海道では初の認証取得となります。

■ 「寒冷地のZEB」への対応

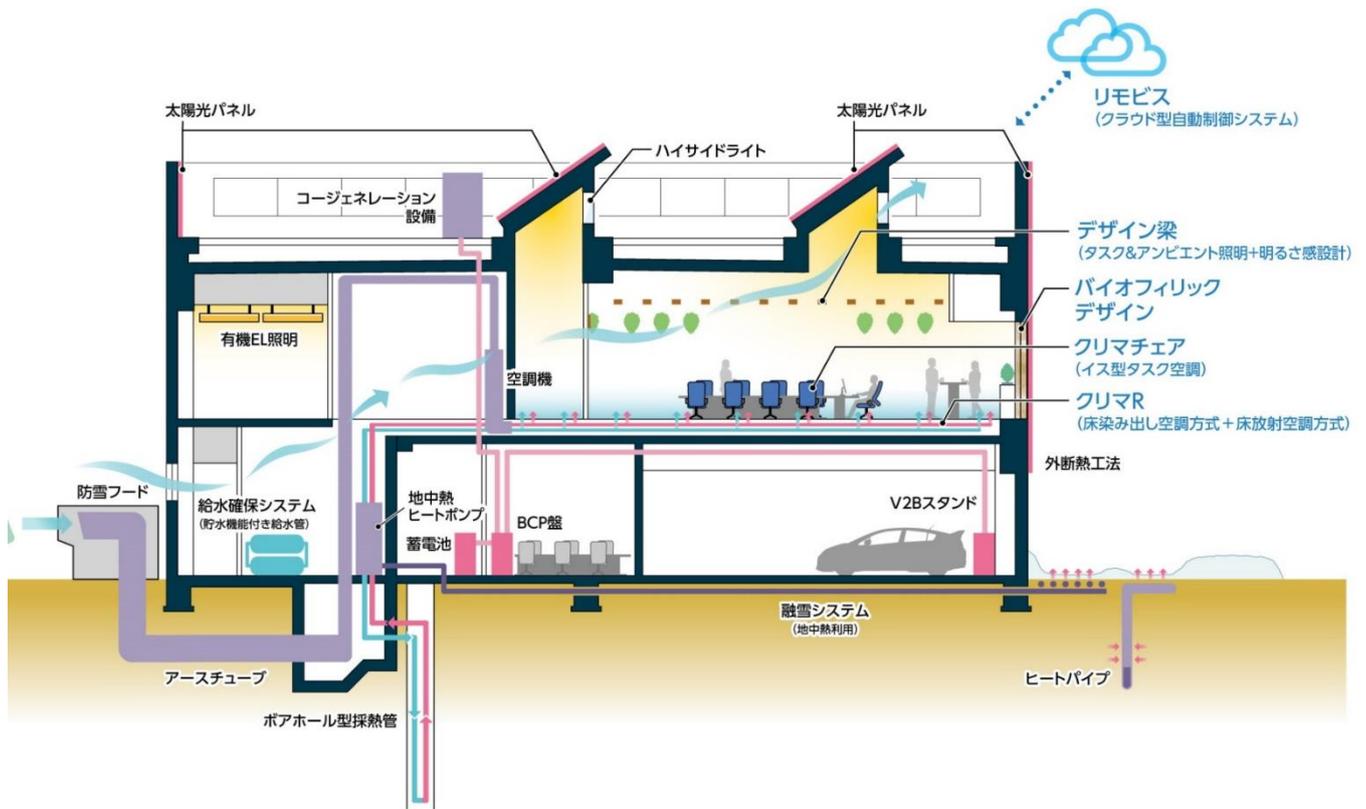
- ・ 積雪と有効面積を考慮し、屋上と建物壁面に太陽光発電設備を設置
- ・ 地中熱採熱
  - ボアホール型採熱管や排熱回収機能付きの地中熱ヒートポンプを採用
  - 外気を予冷・予熱するアースチューブを設置

■ 「ウェルネス」への対応

- ・ “床染み出し空調”とOA床を加温・冷却する“放射空調”を併用
- ・ 個人の温冷感に合わせるイス型タスク空調「クリマチェア」の採用
- ・ タスク・アンビエント照明とデザイン梁による明るさ感を高める照明デザイン
- ・ 緑化、道産木材活用により自然とつながるバイオフィリックデザイン
- ・ カジュアルな会話やフォーマルな会議など多様なコミュニケーション空間を配置

■ 「レジリエンス」への対応

- ・ 非常用に対応した都市ガス利用の小型コージェネレーションを設置
- ・ 蓄電池設備（車載用リサイクルバッテリー採用）+EV自動車からの給電が可能
- ・ 貯水機能付き給水管により、非常時における3日分の衛生水を確保



「エネフィス北海道」テクノロジーマップ

■ 建物概要

- ・ 所在地 北海道札幌市北区
- ・ 設計・施工 株式会社NTTファシリティーズ、ダイダン株式会社
- ・ 内装設計 丸田絢子建築設計事務所
- ・ 施工協力 共立建設株式会社
- ・ 建物規模 延床面積 1,113.21㎡
- ・ 構造・階数 RC造 地上2階建

ダイダンはエネフィスシリーズの建設と運用を通じてZEB技術の知見を蓄積し、お客様にご提案するとともに、『空間価値創造』企業として持続的社会的の実現に貢献してまいります。

【お問合せ先】

ダイダン株式会社 経営企画室 広報・IR担当 伊藤修一

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10

Tel.: 03-5276-4568

E-mail: [itoshuichi@daidan.co.jp](mailto:itoshuichi@daidan.co.jp)